

映画監督 森田芳光

YOSHIMITSU MORITA RETROSPECTIVE

2025.
10.14[火] - 26[日]
11.4[火] - 23[日]
会期中の休館日——月曜日

国立映画アーカイブ
長瀬記念ホール OZU[2階]

[主催]——国立映画アーカイブ
[協力]——ニュースコーポレイション
(森田芳光事務所)

長瀬記念ホール OZU
上映作品

映画監督 森田芳光

Yoshimitsu Morita Retrospective

1970年代の自主映画ムーブメントのさなかに登場し、1980年代の日本映画を牽引、以後もキャリアを通じて多彩な作品を送り出した森田芳光(1950-2011)。同時開催の展覧会と連動しながら、その足跡をたどる特集上映を開催します。

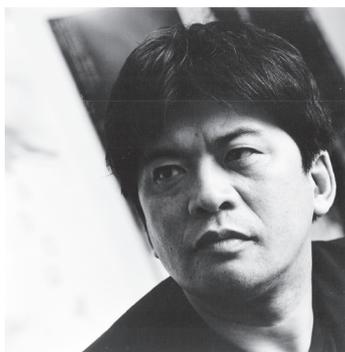
東京・渋谷で育った森田は、日本大学芸術学部放送学科在学中から8mm映画を制作。1978年の『ライプイン茅ヶ崎』が現在のびあフィルムフェスティバルの前身である自主製作映画展に入選するなど高い評価を得ました。大森一樹、石井聰互ら自主映画出身の監督たちが商業映画に進出して成功を取めるなか、1981年、自ら製作資金を捻出し配給交渉をおこなった商業映画第1作『の・ようなもの』を発表、その瑞々しい感覚が注目を集めます。さらに、1983年の『家族ゲーム』はキネマ旬報ベスト・テンの第1位に選出されるなど大変な反響を巻き起こし、森田は名実ともに同時代を代表する映画監督となりました。

ほかにも1980年代には、現在までカルト的なファンをもつ異色のハードボイルド『ときめきに死す』(1984)、漱石文学を映画化して再びキネマ旬報ベスト・テン第1位に選ばれた『それから』(1985)、吉本ばななのベストセラー小説の映画化『キッチン』(1989)などを発表。一作ごとに異なる題材に挑戦しながら、特有の世界観を展開しました。1990年代には、インターネットを介したコミュニケーションの風景にいち早く着目した『(ハル)』(1996)、ベストセラー小説をそれぞれ独自の解釈で映画化した『失楽園』(1997)、『黒い家』(1999)などで技量の幅を示し、2000年代以降は、『阿修羅のごとく』(2003)、『間宮兄弟』(2006)、『武士の家計簿』(2010)、そして遺作となった『僕達急行 A列車で行こう』(2012)など成熟した手腕と旺盛な実験精神を同時にうかがわせる作品を次々に手がけました。

近年では、米国、フランス、韓国、台湾などで回顧上映が開催され、あらためて海外でも評価が高まっています。

本特集では、監督作品だけでなく、脚本家としての仕事にもスポットを当て、31プログラム(38作品)によって、その業績を多面的に検証します。また、そのうちの15作品については今回新たにニュープリントを作製しました。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



森田芳光

- ◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色
- ◎=撮影 ◎=美術 ◎=音楽 ◎=出演
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 上映分数は当日のものと多少異なることがあります。
- 不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- タイトルの横に*印が付いている作品は、公開当時成人指定を受けた作品です。当該の上映回には女性専用席を設けます。
- NEWとある作品はニュープリントでの上映です。
- ★の回はトークイベントや解説があります。

1 10/14(火)15:00 10/25(土)15:30★ 11/20(木)19:00

の・ようなもの (103分・35mm・カラー)

森田が資金調達、キャスト・スタッフの人選、映画会社への配給依頼を自らハンドリングするバイタリティを發揮して実現に漕ぎつけた記念すべき商業映画第1作。東京の下町を舞台に若き二ツ目の落語家志ん魚(伊藤)とその兄弟弟子たちの青春を唯一無二のニューアンスで表現し、8mm映画時代のタッチを劇場映画で実現したかのような軽やかさで鮮烈なデビューを飾った。主人公・志ん魚の姿には職業監督のスタート地点に立った森田自身の心情が重ね合わされている。1981(N.E.W.S. CORPORATION)◎◎森田芳光◎わたなべまこと◎塩村幸◎秋吉久美子、伊藤克信、小林まさひろ、てんでん、大野貴保、麻生えりか、春風亭柳柳、入船亭扇橋、内海桂子、内海好江、加藤治子、尾藤イサオ

★印の回は上映後にライムスター宇多丸氏のトーク(約30分)があります。

2 10/14(火)19:00 11/18(火)15:00

シブがき隊 ボーイズ&ガールズ

(78分・35mm・カラー) NEW

東京での寮生活に嫌気がさし、脱走を図った3人の高校生(シブがき隊=葉丸、本木、布川)が郊外のリゾート地へ。アルバイトに精を出し、地元的女子高生たちと仲良くなるが…。商業映画2作目にしてアイドル映画に抜擢された森田だが、スタッフは先に固まっており、新人監督としてプロの洗礼を浴びる現場となったという。しかし3人のイメージカラーを演出に取り入れるなど、ゲーム感覚溢れる斬新な作品を創り上げた。

1982(ブルミエ・インターナショナル=ジャーニーズ事務所)◎◎森田芳光◎鈴木耕一◎小川富美夫◎義野裕明◎葉丸裕美、本木雅弘、布川敏和、宇紗木千恵、吉田麻子、河上ゆかり、清水クマコ、宮尾すすむ、かたせ梨乃

3 10/15(水)18:30 11/6(木)15:00

◎噂のストリッパー* (66分・35mm・カラー)

森田がきっかけに提出していた企画が採用され、千葉のストリップ劇場でオールロケを敢行したロマンポルノの一作。『の・ようなもの』と同じく、性産業を後ろ暗いものととらえず、あっけらかんとストリップの世界に身を投じる女性の姿を描き出した。

1982(にっかつ)◎◎森田芳光◎水野尾信正◎後藤修孝◎杉山篤◎岡本かおり、三崎奈美、宮脇康之、太田あや子、吉川遊士、森田日記、金田明夫、上野淳

ピンクカット 太く愛して深く愛して*

(68分・35mm・カラー) NEW

『◎噂のストリッパー』の好評を受けて急遽監督したロマンポルノ第2弾。家業の理容室を大胆に改革して繁盛店に仕立てる女子大生となかなか就職できない大学生の恋愛を描く。ミュージカル調の場面を盛り込むなど、より自由でポップな作風が打ち出された。

1983(にっかつ)◎◎森田芳光◎木村智美◎鈴木耕一◎中沢克巳◎佐藤富士男◎寺島まゆみ、井上麻衣、伊藤克信、渡辺良子、山口千枝、山地美貴、佐藤恒治

4 10/18(土)19:00 11/13(木)19:00 11/23(日)13:00

家族ゲーム (106分・35mm・カラー)

高校受験間近の次男(宮川)を抱えナーバスになっている沼田家に、破天荒な家庭教師(松田)がやってくる。彼の言動がやがてこの家族にもたらすものは? 静謐な演出を貫きながら、カリカチュアされた人物造形や歪んだ空間把握、音響設計など、映画のギミックをフル稼働して、受験戦争社会を批判的に映像化した森田の代表作。キネマ旬報ベスト・テン第1位など映画賞を総なめにした。

1983(にっかつ撮影所=ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=日本アート・シアター・ギルド)◎◎森田芳光◎本間洋平◎前田米造◎中澤克巳◎松田優作、伊丹十三、由紀さおり、宮川一朗太、辻田順一、松金よね子、岡本かおり、戸川純、白川和子、加藤善博、阿木耀子

5 10/19(日)16:00 11/15(土)19:00

ときめきに死す (104分・DCP・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

風変わりな殺し屋(沢田)と組織の依頼で彼の世話をすることになった医師(杉浦)、組織から派遣されてきた女(樋口)——3人は奇妙な共同生活を送ることになるが、やがて殺し屋に要人暗殺の指令が下される。丸山健二のハードボイルド小説を換骨奪胎して透明感のあるモラトリアム世界を描き、現在でもカルト的なファンをもつ作品。

1984(ニュー・センチュリー・プロデューサーズ)◎◎森田芳光◎丸山健二◎前田米造◎中沢克巳◎塩村修◎沢田研二、樋口可南子、日下武史、岸部一徳、岡本真、矢崎滋、加藤治子、宮本信子、杉浦直樹

協力:株式会社ハネシネマ、国際交流基金



6 10/15(水)15:00 11/9(日)16:00

メイン・テーマ (101分・35mm・カラー) NEW

薬師丸ひろ子の「20歳の記念映画」として等身大の彼女を描こうと企画された作品。原作は片岡義男。房総から大阪、沖縄へ。西へ西へと旅するうちに運命的な出会いでつながってゆく若い男女(野村、薬師丸)、中年の男女(財津、桃井)の四角関係。海と空、マジックとジャズ、映像と音響、台詞がまるで謎かけのように絡み合い、互いが互いを追いかけ、真夏の恋愛模様、やがては消えゆく青春の祝祭のように展開する。いまこそ再評価が望まれる森田流のロードムービー。

1984(角川春樹事務所)◎◎森田芳光◎片岡義男◎前田米造◎中澤克巳◎塩村修◎薬師丸ひろ子、野村宏伸、財津和夫、渡辺真知子、太田裕美、戸川純、小倉一郎、謎さうちみちお、小松政夫、浜村純、桃井かおり

7 10/18(土)12:00 11/15(土)12:30◎

それから (130分・35mm・カラー)

かねてから漱石文学の映画化を目論んでいた森田が、松田優作との再タッグにあたって満を持して挑んだ文芸映画。モラトリアムの倦怠とその終焉というモチーフは、ここまでの森田作品の延長上にあるが、ベテランのスタッフや俳優たちも参加するなかで、野心的な演出とオーソドックスな語り両立を見事に成し遂げ、再びキネマ旬報ベスト・テン第1位に輝くなど森田の代表作のひとつとなった。

1985(東映)◎◎森田芳光◎夏目漱石◎筒井ともみ◎前田米造◎今村力◎梅林茂◎松田優作、藤谷美和子、小林薫、美保純、森尾由美、イッセー尾形、川上麻衣子、笠置衆、草笛光子、風間杜夫、中村嘉津雄

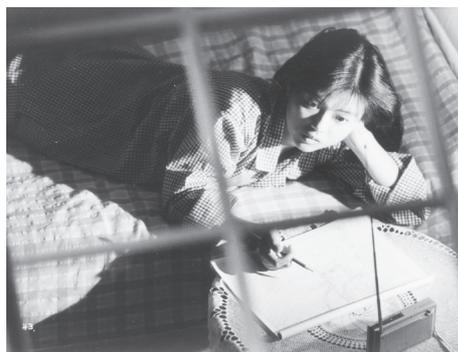
◎印の回はバリアフリー上映を行います。

8 10/25(土)19:00 11/19(水)15:00

そろばんずく (109分・35mm・カラー)

当時若者に絶大な人気を誇っていたとんねるずの主演映画。東宝の「社長」シリーズを愛好していた森田は、広告業界を舞台にしたサラリーマン喜劇として構想したが、極度にデフォルメされた世界観や演技、さまざまな実験的趣向を凝らした撮影、過去の森田作品のセルフパロディなどが横溢し、全篇にわたって異様なテンションが漲る怪作となった。

1986(フジテレビジョン=AtoZ=ニッポン放送)◎◎森田芳光◎前田米造◎中澤克巳、古谷良和◎梅林茂◎石橋貴明、木梨憲武、安田成美、小林薫、渡辺徹、名取裕子、石立鉄男、木内みどり、三木のり平、小林桂樹



メイン・テーマ

©KADOKAWA 1984

9 10/16(木)15:00 11/7(金)19:00

悲しい色やねん(102分・35mm・カラー)

映画化を前提として書かれた小林信彦の同名小説から着想し、原作では間接的にしか描かれない暴力団組長の息子の物語に焦点を絞った異色のやくざ映画。銀行員として働く夕張組の跡取り・トオル(仲村)は、父の負傷により、やくざの世界に身を投じるが…。映画独自の大阪弁による台詞の応酬や主人公を取り巻く奇怪な周辺人物など、森田らしい細かな遊びが随所に見てとれる。

1988(東映=サンダンス・カンパニー)◎◎◎森田芳光◎小林信彦◎前田米造◎中澤克己◎梅林茂◎仲村トオル、高嶋政宏、藤谷美和子、石田ゆり子、橋ゆかり、森尾由美、小林薫、加藤武、北村和夫、江波杏子、高島忠夫

10 10/17(金)15:00 11/6(木)19:00

愛と平成の色男(96分・35mm・カラー)NEW

森田が製作総指揮・脚本を手がけたヒットシリーズの第2作『バカヤロー! 2』の『幸せになりたい。』の併映作品として、『2本立てのB面映画』というコンセプトで製作された。昼は歯科医、夜はサクソプレイヤーというプレイボーイの主人公(石田)の日常を描く。軽薄かつツギザネパロディに徹した一作だが、仙元誠三のカメラを得て、バブル期の浮遊感と虚無感を見事に映し出している。

1989(光和インターナショナル=バンダイ=松竹)◎◎◎森田芳光◎仙元誠三◎今村力◎野力奏一◎石田純一、鈴木保奈美、武田久美子、財前直見、久保京子、鈴木京香、桂三木助、和氣香子、田辺美佐子、石森かづえ

11 10/18(土)16:15 11/7(金)15:00 11/22(土)12:30

キッチン(106分・35mm・カラー)

吉本ばななのベストセラー小説の映画化。オーディションで選ばれた川原亜矢子、松田ケイジが新鮮な魅力を発揮しているほか、橋爪功の演技も高く評価された。エキストラに至るまで趣向を凝らした坪井道子の衣裳、フードコーディネーターを導入した料理の描写、前作から続けて参加した野力奏一の音楽など、森田の世界観構築のセンスが最も洗練されたかたちで結実している。

1989(光和インターナショナル)◎◎◎森田芳光◎吉本ばなな◎仙元誠三◎今村力◎野力奏一◎川原亜矢子、松田ケイジ、浦江アキコ、松浦佐紀、中島陽典、浜美枝、吉住小昇、入船亭扇橋、四谷シモン、橋爪功

12 10/16(木)19:00 11/16(日)13:00

おいしい結婚(109分・35mm・カラー)NEW

若くて夫に先立たれた美栄子(三田)だが、いまや一人娘(斉藤)も立派に成人。美栄子に気がある亡き夫の親友3人はお節介にも次々と娘に見合い話を持ってくる…。『おいしい結婚』の『おいしい』とは「二人を取り巻く人間関係」だと語る森田は、小津安二郎の『秋日和』(1960)を下地に、得意とする会話の連鎖で、結婚に踏み出すカップルと2人を祝福する人物たちを魅力的に描き出していく。俳優のキャラクターを演出に活かす森田の特質が効果を上げた一作。

1991(東宝=サンダンス・カンパニー)◎◎◎森田芳光◎前田米造◎今村力◎野力奏一◎三田佳子、斉藤由貴、唐沢寿明、小林稔侍、橋爪功、斎藤晴彦、南美江、結城美栄子、入江若葉、白鳥靖代、田中邦衛



おいしい結婚

©1991 TOHO CO., LTD.

13 10/17(金)19:00 11/9(日)12:30

未来の想い出 Last Christmas

(118分・35mm・カラー)NEW

売れない漫画家の遊子(清水)と主婦の銀子(工藤)は、現在の記憶を持ったまま10年前に転生する。藤子・F・不二雄とともにSF作品をつくりたいという森田の要望を受けて、基本設定を共有しながら藤子が漫画を描きおろし、森田が独自に脚本を手がけたSFファンタジー。今村力による銀座4丁目交差点のセットなどを駆使して「日常のなかの非日常」を表現している。

1992(光和インターナショナル=藤子・F・不二雄プロ)◎◎◎森田芳光◎藤子・F・不二雄◎前田米造◎今村力、岡村匡一◎加古隆◎工藤静香、清水美砂、デビッド伊東、和泉元彌、唐沢寿明、眞行寺君枝、イッセー尾形、鈴木京香、宮川一朗太、うじきつよし、橋爪功

14 10/25(土)12:00★ 11/15(土)16:00◎ 11/22(土)19:00

(ハル)(119分・35mm・カラー)

盛岡に住む「ほし」こと美津江(深津)と東京に住む「ハル」こと昇(内野)は、パソコン通信でのやりとりを通じて自身を見つめ直し、互いへの思いを募らせていく。題材の新しさもさることながら、人物の心理的变化を巧みに表現した字幕の演出やエドワード・ホッパーの絵画を参考にした高瀬比呂志の撮影など、森田の的確かつ繊細な演出によって、普遍的なコミュニケーションのドラマに仕上がっている。

1996(光和インターナショナル)◎◎◎森田芳光◎高瀬比呂志◎小澤秀高◎野力奏一、佐橋俊彦◎深津絵里、内野聖陽、山崎直子、竹下宏太郎、八木昌子、潮哲也、平泉成、鶴久政治、宮沢和史、戸田菜穂

★印の回は上映後に当館研究員による解説(約30分)があります。◎印の回はパリアフリー上映を行います。

15 10/21(火)15:00 11/14(金)19:00

失楽園(119分・35mm・カラー)NEW

編集者の久木(役所)は、カルチャーセンターで書道講師を務める凛子(黒木)と出会い、彼女との情事に溺れていく。やがて2人の関係は互いの家族の知るところとなり…。大胆な性交描写で話題を呼んだ渡辺淳一のベストセラー小説の映画化だが、森田は筒井ともみの脚色を得て、新しいホームドラマである『家族ゲーム』や新しい文芸映画である『それから』に並ぶ『新しいジャンルの日本映画』を企図したと語っている。

1997(角川書店=東映=日本出版販売=三井物産=エースピクチャーズ)◎◎◎森田芳光◎渡辺淳一◎筒井ともみ◎高瀬比呂志◎小澤秀高◎大島ミチル◎役所広司、黒木瞳、寺尾聰、柴俊夫、星野知子、木村佳乃、小坂一也、平泉成、岩崎加根子、中村敦夫

16 10/26(日)12:30★ 11/18(火)18:30

39 刑法第三十九条(133分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

ある夫婦が惨殺され、劇団員の柴田真樹(堤)が容疑者として逮捕された。弁護士長の長村(樹木)は柴田の様子から司法精神鑑定を依頼。精神医学者の藤代(杉浦)は柴田が解離性同一性障害であると鑑定し、刑法第39条の適用を主張するが、助手の小川香深(鈴木)は鑑定結果に疑問を抱く。心身耗弱者の責任能力をめぐる刑法第39条を題材としたサスペンス。銀残しによって極度に色彩を抑制した画面のなかで、海岸のサングラスや学校の校庭に転がるソフトボールなど森田ならではの象徴的な映像実験が試みられた。

1999(光和インターナショナル=松竹)◎◎◎森田芳光◎大森寿美男◎高瀬比呂志◎小澤秀高◎佐橋俊彦◎鈴木京香、堤真一、岸部一徳、吉田日出子、山本未来、勝村政信、笹野高史、國村隼、樹木希林、江守徹、杉浦直樹

★印の回は上映後に鈴木京香氏のトーク(約30分)があります。

17 10/26(日)16:00 11/19(水)19:00

黒い家(119分・35mm・カラー)NEW

保険会社に勤める若槻(内野)は、顧客の孤田重徳(西村)の自宅を訪れ、子どもの遺体発見の現場に立ち会う。保険金殺人を疑った若槻は、重徳の妻・幸子(大竹)が次なるターゲットにされるのではないかと考えるが…。貴志祐介のベストセラー小説をもとに『39』に続いて人間心理の闇に切り込んだ作品だが、前作の静のイメージに対して動のイメージに傾き、ポップなホラー映画に仕立てている。

1999(「黒い家」製作委員会)◎◎◎森田芳光◎貴志祐介◎大森寿美男◎北信康◎山崎秀満◎山崎哲雄◎内野聖陽、西村雅彦、田中美里、町田康、桂憲一、小林薫、友里千賀子、鷲尾真知子、石橋蓮司、大竹しのぶ

18 10/21(火)18:30 11/20(木)15:00

阿修羅のごとく

(135分・35mm・カラー)NEW

愛妻家と思われた父親(仲代)に子連れで愛人がいた。動揺する四姉妹(大竹、黒木、深津、深田)。だが彼女たちもそれぞれにひと筋縄ではゆかぬ男性関係を抱えていた。向田邦子の代表作であるTVドラマ脚本を、三たび筒井ともみの脚色と、過去作の3人の主演女優を得て、豪華に映画化。向田は永く森田が敬愛してきた作家だけに、原作の昭和54年前後の風景(美術、衣裳、小道具)の再現には細心の注意が払われた。

2003(「阿修羅のごとく」製作委員会)◎◎◎森田芳光◎向田邦子◎筒井ともみ◎北信康◎山崎秀満◎大島ミチル◎大竹しのぶ、黒木瞳、深津絵里、深田恭子、小林薫、中村獅童、RIKIYA、木村佳乃、長澤まさみ、紺野美沙子、坂東三津五郎、桃井かおり、八千草薫、仲代達矢

19 10/22(水)15:00 11/14(金)15:00

海猫 umineko(129分・35mm・カラー)NEW

薫(伊東)は漁師の邦一(佐藤)と結婚するが、やがて夫婦関係に思い悩み、心優しい義弟の広次(仲村)に惹かれていく。森田は谷村志穂の同名小説の映画化に際して、自身が映画にのめり込むきっかけとなった『ドクトル・ジバゴ』(1965、デヴィッド・リーン)のように「人と人が愛し合い、憎み合うドラマ」を描こうとしたと語っている。

2004(「海猫」製作委員会)◎◎◎森田芳光◎谷村志穂◎筒井ともみ◎石山稔◎山崎秀満◎大島ミチル◎伊東美咲、仲村トオル、ミムラ、蒼井優、角田ともみ、深水元基、三田佳子、小林トシ江、吉本選江、佐藤恒治、宮下順子、伊藤克信、鳥羽潤、小島聖、白石加代子、佐藤浩市

20 10/24(金)15:00 11/22(土)13:30

間宮兄弟(119分・35mm・カラー)NEW

それぞれ仕事を持ちながら、休日は趣味に生き、2人暮らしのマンションで好きな本、DVD、ゲーム等に囲まれ、気になる女の子を誘ったりする間宮兄弟(佐々木、塚地)。大人になっても遊び心をもって生活する愛すべき人物をほのぼのと捉えたオモチャ箱のような映画ながら、現代日本人のコミュニケーションの在り方への考察も滲ませ、初期森田作品ののびのびとしたタッチが回帰した一作。

2006(「間宮兄弟」製作委員会)◎◎◎森田芳光◎江國香織◎高瀬比呂志◎山崎秀満◎大島ミチル◎佐々木蔵之介、塚地武雅、常盤貴子、沢尻エリカ、北川景子、佐藤隆太、岩崎ひろみ、戸田菜穂、加藤治子、高嶋政宏、中島みゆき

21 10/22(水)19:00 11/13(木)15:00

サウスバウンド(114分・35mm・カラー)NEW

奥田英朗の同名小説の映画化。東京の下町に妻と3人の子とともに暮らす一郎(豊川)は元過激派で、あらゆる統制に反抗する破天荒な男だ。やがて一家は沖縄の西表島へ移り住むが、そこでも一郎は観光開発をめぐる奮闘することになる。「大人になった子どもと、大人になろうとしている子ども」の姿をおとし、森田特有の家族観が表出した一作。撮影は次の『椿三十郎』よりも後におこなわれた。

2007(角川映画)◎◎◎森田芳光◎奥田英朗◎沖村志宏◎山崎秀満◎大島ミチル◎豊川悦司、天海祐希、北川景子、田辺修斗、松本梨菜、松山ケンイチ、村井美樹、小木茂光、平田満、吉田日出子、加藤治子



阿修羅のごとく

©2003「阿修羅のごとく」製作委員会



それから ©東映



(ハル) ©光和インターナショナル



39 刑法第三十九条 ©光和インターナショナル/松竹



黒い家 ©1999「黒い家」製作委員会

◎バリアフリー上映のお知らせ

11月15日(土)12:30の『それから』と16:00の『(ハル)』は、聴覚障害の方向けの日本語字幕と、映画の音声を増幅するヒアリンググループシステムをご用意しています。また、視覚障害の方向けの音声ガイドをFM配信し、ラジオ貸出もいたします。

予約について

ヒアリンググループと音声ガイドをご利用の方はメールまたはFAXによる事前予約をお願いいたします。また、聴覚・視覚障害の方で、字幕でご覧になる方やラジオとイヤホンを持参される方も、お席の予約をお勧めしますので、11月13日(木)までにご連絡ください。席数や貸出機器には限りがございます。お早めにお申し込みください。
※ヒアリンググループご希望の方は磁気コイル付補聴器(Tマーク付補聴器)をご持参ください。

メールおよびFAX予約方法

件名:希望の上映回(各回または両方の回)
字幕/ヒアリンググループ/音声ガイド(いずれかをご記入ください)

記入事項:

- ①来場者全員のお名前(付添者は人数だけでも可)
- ②希望席数/ラジオ希望台数
- ③返信用連絡先(当日も連絡がとれる電話番号またはメールアドレス)

※日曜・月曜に予約申込された場合、予約受付の返信は後日お送りします。
※個人情報上記の目的にのみ使用し、使用後は適切に破棄します。

申込期間:10月28日(火)ー11月13日(木)

*定員に達し次第、締め切ります。

申込先:assist@nfaj.go.jp FAX: 03-3561-0830

協力:Palabra株式会社、社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター

*詳細はホームページをご覧ください。

展示室(7階)

【企画展】

常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

映画監督 森田芳光

Film Director Yoshimitsu Morita

2025年8月12日(火)ー11月30日(日)

* 月曜日、8月26日(火)ー9月5日(金)、10月7日(火)ー10月12日(日)は休室

主催:国立映画アーカイブ

ニュース・コーポレーション(森田芳光事務所)

喜劇、アイドル映画、文芸作品、恋愛映画、ホラー、ミステリー、時代劇とジャンルの垣根を取り払い、1980年代以降の日本映画に話題作を提供してきた監督森田芳光(1950ー2011)。『家族ゲーム』(1983年)や『失楽園』(1997年)をはじめ、時代の世相を巧みに取り入れた作品群や、近年の再評価の流れも含めて監督像を余すところなく紹介します。

開室時間=11:00ー18:30(入室は18:00まで)

*9/26、10/31、11/28の金曜日は開室時間を20:00まで延長いたします。(入室は19:30まで)

料金=一般500円(400円)/大学生300円(240円)/65歳以上、高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立美術館のキャンパスメンバーズは無料

*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。
*()内は20名以上の団体料金です。

*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

*詳細は本展のチラシまたは国立映画アーカイブのHPをご覧ください。

常設展ギャラリートーク 原則として毎月第一土曜日

*詳細はホームページをご覧ください。

▶ チケット購入方法

	一般	高校・大学生・65歳以上	小・中学生	障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ
チケット料金	520円	310円	100円	無料
オンライン販売	各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで*			
窓口販売	各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売			

*特別上映「森田芳光初期8mm作品集」のチケット入手方法は4頁をご覧ください。

*電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。

*料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。

*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、国立美術館のキャンパスメンバーズは証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

*未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

▶ 入場方法

*開場は開映30分前です。

*チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いないようご注意ください。

*各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。

NFAJニュースレター第29号 ご案内

1階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。

本特集に関するインタビュー、論考が収められた「NFAJニュースレター」第29号(350円、税込)をどうぞご利用ください。

「映画監督 森田芳光」スタンプラリー実施予定

*詳細は後日ホームページでお知らせします。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル 050-5541-8600

ホームページ:www.nfaj.go.jp



長瀬映像文化財団 国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

上映会番号 487

映画監督 森田芳光

Yoshimitsu Morita Retrospective

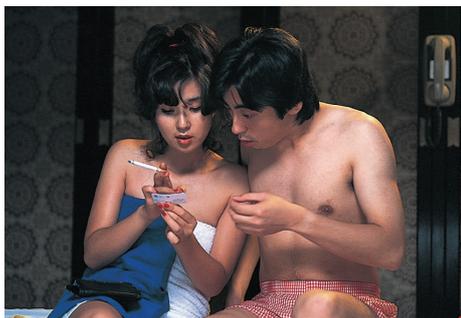
定員310名(各回入替制・全席指定席)

10月	14	15:00	① の・ようなもの (103分)	19:00	② シブがき隊 ボーイズ&ガールズ (78分)		
	15	15:00	⑥ メイン・テーマ (101分)	18:30	③ 罇のストリップパー/ピンクカット 太く愛して深く愛して* (計134分)		
	16	15:00	⑨ 悲しい色やねん (102分)	19:00	⑫ おいしい結婚 (109分)		
	17	15:00	⑩ 愛と平成の色男 (96分)	19:00	⑬ 未来の思い出 Last Christmas (118分)		
	18	12:00	⑦ それから (130分)	16:15	⑪ キッチン (106分)	19:00	④ 家族ゲーム (106分)
	19	13:00	⑫ 椿三十郎 (119分)	16:00	⑤ ときめきに死す (104分)		
	21	15:00	⑮ 失楽園 (119分)	18:30	⑯ 阿修羅のごとく (135分)		
	22	15:00	⑰ 海猫 umineko (129分)	19:00	⑳ サウスバウンド (114分)		
	23	15:00	㉓ わたし出すわ (110分)	18:30	㉔ 武士の家計簿 (129分)		
	24	15:00	㉔ 間宮兄弟 (119分)	19:00	㉕ 僕達急行 A列車で行こう (117分)		
25	12:00	⑭ (ハル) ★ (119分)	15:30	① の・ようなもの ★ (103分)	19:00	⑧ そろばんずく (109分)	
26	12:30	⑯ 39 刑法第三十九条 ★ (133分)	16:00	⑰ 黒い家 (119分)			

11月	4	15:00	㉖ 3年目の浮気* (75分)	19:00	㉗ 免許がない! (103分)	
	5	15:00	㉗ ウホッホ探検隊 (105分)	19:00	㉘ キリコの風景 (105分)	
	6	15:00	③ 罇のストリップパー/ピンクカット 太く愛して深く愛して* (計134分)	19:00	⑩ 愛と平成の色男 (96分)	
	7	15:00	⑪ キッチン (106分)	19:00	⑨ 悲しい色やねん (102分)	
	8	12:00	㉙ 森田芳光初期8mm作品集(1) ★ (計183分) 途中休憩あり	17:00	㉚ 森田芳光初期8mm作品集(2) (計196分) 途中休憩あり	
	9	12:30	⑬ 未来の思い出 Last Christmas (118分)	16:00	⑥ メイン・テーマ (101分)	
	11	15:00	㉘ キリコの風景 (105分)	19:00	㉖ 3年目の浮気* (75分)	
	12	15:00	㉗ 免許がない! (103分)	19:00	㉗ ウホッホ探検隊 (105分)	
	13	15:00	㉙ サウスバウンド (114分)	19:00	④ 家族ゲーム (106分)	
	14	15:00	⑰ 海猫 umineko (129分)	19:00	⑮ 失楽園 (119分)	
15	12:30	⑦ それから ◎バリアフリー上映 (130分)	16:00	⑭ (ハル) ◎バリアフリー上映 (119分)	19:00	⑤ ときめきに死す (104分)
16	13:00	⑫ おいしい結婚 (109分)	16:00	㉓ わたし出すわ (110分)		
18	15:00	② シブがき隊 ボーイズ&ガールズ (78分)	18:30	⑯ 39 刑法第三十九条 (133分)		
19	15:00	⑧ そろばんずく (109分)	19:00	⑰ 黒い家 (119分)		
20	15:00	⑯ 阿修羅のごとく (135分)	19:00	① の・ようなもの (103分)		
21	15:00	㉔ 武士の家計簿 (129分)	19:00	⑫ 椿三十郎 (119分)		
22	12:30	⑪ キッチン (106分)	15:30	㉔ 間宮兄弟 (119分)	19:00	⑭ (ハル) (119分)
23	13:00	④ 家族ゲーム (106分)	16:00	㉕ 僕達急行 A列車で行こう (117分)		

■★の回はトークイベントや解説があります。 ■*印の回は女性専用席を設けます。

■各回の開映後の入場はできません。
■各日11:00に開館します。



の・ようなもの

©1981 N.E.W.S. CORPORATION



家族ゲーム

©1983 日活/東宝



僕達急行 A列車で行こう

©2012 「僕達急行」製作委員会

表紙: (ハル) ©光和インターナショナル